

# 公益社団法人 湖南省シルバー人材センター

## 2023年度 事業報告

2023年4月1日 から 2024年3月31日

### 1. 事業概要

新型コロナウイルスの感染拡大から3年余りが経過し、2023年5月には、ようやく感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ第5類感染症に引き下げられました。

これを機に、長期にわたる未曾有の世界的危機から脱出の兆しが見え始めた2023年度は、国内の雇用情勢をはじめ社会経済活動の回復に向けて前向きに動き始めた年でした。

湖南省シルバー人材センターでは、事業推進の再開に向けて大きく舵を取りつつも引き続き感染症対策を講じながら、状況の変化に応じて臨機応変に対応しつつ、取り組みを進めてきましたが、概ねこの1年間も感染症の影響が大きく残る年でした。

このため、重点的な取り組み事項として挙げていた会員数の拡大に関しては、人の集まりや外出に対して一定の制限を設けながら、公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会（以下「滋賀県連合会」という）が開催する研修会や講習会などに参加しました。また、県内のセンターが一同に集まる「シルバー子育てしえんフェスティバル」が野洲市で開催され、女性部会が取り組んだ活動を中心としてイベントに参加することができました。

加えて、地域経済の活性化と会員の福利厚生の実現はもとより、会員の拡大確保に繋がる「シルバーフレンドリーショップ制度(会員優待割引制度)」も創設から2年目を迎え、会員の利用促進に向けた積極的な案内周知と会員優待割引協力店の募集拡大に努めました。

また、2022年5月、改正道路交通法の施行により75歳以上の高齢ドライバーが運転免許証の更新をする際には「認知機能検査」が必須となりました。

この認知機能検査の不安を事前に解消するとともに、不慣れなタブレット端末を用いた操作の練習を兼ねて、疑似体験ができるアプリ「MOGI(モギ)」を使った教室を、YouTube(ユーチューブ)を使って広く周知し、開催をしたところ全6回延べ73名が受講されました。

この他、スマートフォン初心者を対象にレベルに沿って基本操作を学ぶ「スマートフォン講習会」を開催し、全8コマ延べ56名が受講されました。

さらには、会員の拡大に向けて従来から実施している「入会説明会」を毎月2回、「女性限定入会説明会」を毎月1回開催した他、新たに「夫婦会員

会費減額制度（通称：めおと割）」を導入するなど積極的な会員の確保に努めました。

その他、市内スーパー4か所で開催した「出張入会案内」や広報誌「シルバーこなん」新年1月号の新聞折り込みによる全戸配布、8月の自治会による町内回覧、毎月発行の「事務局だより」内容の充実、会員への「ショートメールサービス」、入会を希望する方への「WEB入会システム」や「YouTubeによる動画配信サービス」を使った入会案内等々、デジタルリテラシーを活用し、業務の効率化を図った事業展開を積極的に試みながら目標の達成に努めました。

※「デジタルリテラシー」とは、パソコンなどを使って最新のテクノロジーを業務に活かす能力のことです。

なお、派遣事業に関しては、経済が上向きになって来ているとは言えるものの、コロナ禍の影響が残り、まだまだ事業所による発注控えが一部で続いている状況ではありますが、全体の契約件数としては昨年度より16.2%増という結果となりました。

受託事業（請負）についても、派遣事業と同様に対前年度比では一定増加の兆しが現れているものの、事務費率の改正を鑑みますと全体の契約件数としては昨年度とほぼ横ばいの状況でした。

安全就業については、幸い重篤な事故はありませんでしたが、事故は往々にして気の緩みなどから起こるものであり、安全・適正就業委員会による「安全・適正就業研修会」への積極的な参加や、草刈り作業等の現場パトロールを行いました。

また、「事務局だより」には、定期的に「安全就業ニュース」や「見守り・安心宅配便」の欄を設け、就業や日常生活における安全意識の徹底と啓発に努めました。

このように、初頭から続くコロナ禍の影響により迷走する社会情勢のなかで、公益社団法人としての社会的役割と法令遵守の観点をもって事業運営に努めてきたところ、契約額は前年度比+5.9%の2億583万7,398円、令和6年3月末における会員数は1人増の518人で+0.2%（男326人▲0.9%、女192人+2.1%）という結果となりました。

当センターでは、役職員が一体となり会員相互の連携をさらに深め、個々の希望と能力を活かした事業運営となるよう、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 2. 事業実績

### (1) 就業に関する情報の収集および提供活動

湖南省やハローワーク甲賀をはじめとする公共機関や民間企業、民間団体ならびに一般のご家庭等から就業に関する情報を収集し、毎月第三月曜日に開催する「就労相談会」の実施、電話による就業紹介、ホームページによる就業情報の提供、シルバーワークプラザ玄関掲示板へ就業情報の掲載、「事務局だより」の発行などを通じて、会員に広く情報を提供して就業の拡大に努めました。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という）や滋賀県連合会が実施する事業への参画や、他市町のシルバー人材センターとの連携を図り、情報共有による就業に関する情報を収集し、会員に就業情報を提供することで事業の質的向上と量的拡大に努めました。

## (2) 就業に関する調査および研究

コロナ禍の影響が残る中ではありましたが、全シ協や滋賀県連合会が実施する会議や各種研修会・講習会等に役職員ならびに会員が積極的に参加しました。

一方、センターでは新規入会希望者の確保と入会手続きの利便性を追求するため、ホームページ内に構築した「WEB 入会システム」や「YouTube による動画案内」を引き続き開設しました。

また、女性会員の拡大を目指し、女性が参加しやすいよう「女性限定入会説明会」を毎月末の月曜日に開催しました。

## (3) 高齢者に対する就業相談の実施

入会を希望する方を対象にした月2回の「入会説明会」と、既会員を対象とした「就労相談会」を実施しました。

また、毎月発行する「事務局だより」に就業情報を掲載するとともに、就業を希望する会員に対しては、個別に電話で案内するなど未就業者の解消に努めました。

## (4) 就業機会の確保および提供

### ① 受託事業

コロナ禍の中でも、地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を、官公庁や一般家庭、企業・事業所等から請負や委任の形式で引き受けるために、会員をはじめ役職員が一丸となり事業を推進した結果、本年度における請負・委任契約に係る受託事業の実績は、**契約額**が1億1,254万4,139円で前年度と比較して3.4%の増、**契約件数**は1,231件（+2.2%）、**就業実人員**は281人（▲2.8%）、**就業延人員**は20,343人日（▲9.1%）となりました。

### ② 自主事業と地域就業機会の創出・拡大事業

当センターの自主事業である「刃物研ぎ事業」を実施したほか、湖南省からの依頼に基づく「空き家管理サポート事業」を継続することで、市との連携を深めるとともに地域への貢献を図りました。

また、女性部会では、一昨年前の手作り「手ぬぐい帽子」に代わって、女性ならではの視点を活かした女性会員の皆さんで手作りした「スマホ・クッション」や「大王松の松ぼっくりツリー」を「シルバー子育てしえんフェスティバル in 野洲」で販売し、今後の独自事業への足掛かりとしました。

このほか、毎月実施している「卓球教室」は、会員の健康管理のみならず、非会員の方の参加も受け入れているため、新たな会員確保に繋がることを期待しています。

また、介護関連事業については、湖南省高齢福祉課や健康政策課との連携強化を図り、市の広報誌にセンターの事業目的に深く関わりがある「フレイル予防でいつまでも健康に！」を特集記事として掲載するなど、引き続き湖南省との連携を進めながら、新たな自主事業の開発に向けて積極的な取り組みに努めました。

※「フレイル」とは、「健康」と「要介護状態」の中間で、生活が不活発になることで身体や頭の働きが低下してしまい心身が弱っていく状態です。

### ③ 派遣事業

滋賀県連合会が実施している「労働者派遣事業」を活用して、高年齢者の多様な就業ニーズに応えるため就業形態の選択肢を増やすとともに、法令遵守に基づく事業の適正化の推進に努めました。

その結果、契約額9,329万3,259円(+9.0%)、契約件数79件(+16.2%)、就業実人員178人(±0%)、就業延人員15,645人日(+1.5%)となりました。

### (5) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業は、センター事業の重要課題であるため、会員の事故防止や健康管理に最優先で努めなければなりません。このため安全・適正就業委員会を中心に、会員の安全就業（安全講習会等）、健康管理（卓球教室など）ならびに適正就業の推進に努めましたが、本年度は、賠償責任が必要な物損事故3件、傷害事故2件が発生するという結果となりました。

事故の多くは、日頃の慣れからくる過信が要因であることから、今後も安全就業に対する取り組みを強化し、事故ゼロを目標に事故撲滅に努めてまいります。

また、厚生労働省が示している「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の趣旨に則り、発注者にはシルバー人材センターの働き方を周知し、会員に対しては周知と必要に応じた研修や面談による説明を実施するなど、これからも引き続き適正就業の推進に努めます。

## (6) 組織の充実と経営及び運営基盤の整備

### ① 会員の経験および知識・能力を活用した運営

事業の企画・運営及び会議や各種研修会・各種技能講習会等への参加（リモート含む）に努めました。

### ② 理事会等の充実

理事会・専門部会等への適時適切な情報提供を行い、課題を共有しながら理事会運営の充実を図りました。

### ③ 財源の確保

令和5年10月1日から施行された「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」は、センターに及ぼす影響が非常に大きいことから、「シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援に関する意見書の提出を求める請願書」を湖南省議会令和4年3月定例会に提出し、その後、市議会を通じて国の関係省庁に対し、制度の適用除外や特例措置の実施に向けた請願による働きかけを行いました。特例は認められませんでした。

また、湖南省や湖南省議会に対しましては、補助金の増額と公共に係る業務発注の拡大を要望しました。

さらに、就業開拓や新規事業の創出等により自主財源の確保に努めました。

### ④ 事務処理の集中化・適正化の推進

業務における事務処理の効率化と経理事務における効率化・適正化の推進に努めるとともに、法令遵守に加えて公益社団法人としての社会的役割と責任を果たすため、コンプライアンス遵守の徹底を図りながら公益法人としての適正な運営に努めました。

※「コンプライアンス」とは、本来の法令順守に加えて企業理念や社会的責任（CSR）といった「企業倫理」のことです。

なお、事業実績対前年度比の詳細「2023年度事業実績総括表」については、次のとおりです。

## 2023年度事業実績総括表

項目	2023年度		2022年度		増減		伸び率 (%)
<b>正会員数</b>	518人		517人		1人		0.2
男 性	326	人	329	人	▲3	人	▲0.9
女 性	192	人	188	人	4	人	2.1
<b>就業実人員</b>	388人		391人		▲3人		▲0.8
受託事業	281	人	289	人	▲8	人	▲2.8
派遣事業	178	人	178	人	0	人	0.0
<b>就業延人員</b>	35,988人日		37,781人日		▲1,793人日		▲4.7
受託事業	20,343	人日	22,369	人日	▲2,026	人日	▲9.1
派遣事業	15,645	人日	15,412	人日	233	人日	1.5
<b>契約件数</b>	1,310件		1,272件		38件		3.0
受託事業	1,231	件	1,204	件	27	件	2.2
派遣事業	79	件	68	件	11	件	16.2
<b>契約額</b>	205,837,398円		194,378,388円		11,459,010円		5.9
<b>受託事業</b>	112,544,139円		108,793,965円		3,750,174円		3.4
公共事業	29,096,783	円	29,287,604	円	▲190,821	円	▲0.7
民間事業	83,447,356	円	79,506,361	円	3,940,995	円	5.0
<b>派遣事業</b>	93,293,259円		85,584,423円		7,708,836円		9.0
公共事業	27,242,821	円	23,604,994	円	3,637,827	円	15.4
民間事業	66,050,438	円	61,979,429	円	4,071,009	円	6.6